

札幌市産業振興ビジョンの全体構成(案)

第1章 ビジョンの基本的な考え方

背景と必要性

- ・ 経済・社会環境が大きく変化し、全国的に景気が落ち込む中、北海道・札幌市経済も低迷しており、大変厳しい状況が続いている
- ・ 本市の経済は、人口の増加に比例して成長してきたが、人口減少時代に突入しようとしている。
- ・ 様々な外的要因の変化にも対応できる、足腰の強い経済基盤を確立する必要がある。
- ・ 本市経済を取り巻く環境の変化や実体経済の動きを的確に捉え、中長期的な視点から、本市が目指すべき方向や、行政の果たすべき役割を明確にするためのビジョンを策定する。

ビジョンの位置づけ

- ・ 「第4次札幌市長期総合計画」の方向性を踏まえた産業振興分野の今後の展開を示したものとす。
- ・ 札幌市が策定している他分野の計画等との整合性をとり、連携を図って産業振興に結びつける。
- ・ 札幌市中小企業振興条例に基づく総合的な施策とする。
- ・ 本ビジョンに基づき、各年度の予算における具体的事業を展開する

基本方針

- (1) 札幌広域都市圏の中の札幌市としての方向性
- (2) 北海道経済のけん引役としての役割
- (3) 中小企業の創意工夫と自主的な努力の尊重
- (4) 産学官連携の促進
- (5) 国、北海道など関係機関との連携

期間

平成23年度～32年度の10年間

第2章 札幌市産業の現状・課題

現状分析

1. 札幌市の経済動向
2. 人口構造
3. 産業構造
4. 都市機能の状況

課題

1. 人口減少と少子高齢化の進行への対応
2. 人材の流出と雇用情勢の悪化への対応
3. 「札幌型ものづくり産業」振興の必要性
4. 北海道の資源や札幌の都市機能など強みの活用

第3章 札幌市産業の目指す姿

基本理念

人の力と地域の魅力が作り出すチャレンジ都市さっぽろ

目指す姿

- 中小企業の活気があふれ新しい時代を先導するまち
- 地域資源を活かした創造性あふれるまち
- 世界に羽ばたく企業が躍進する活力あふれるまち
- 人と企業が世界中から集まる魅力的なまち
- 個性的なまちづくりと産業が結びつき地域が賑わうまち

産業振興の最終目的

1. 雇用機会を確保・創造
2. 企業、就業者の収入増加
3. 魅力あふれるまちづくりの実現

第4章 産業振興施策の展開

施策展開に向けた視点

1. 道内経済循環の拡大

- ・ 道内企業の取引拡大
- ・ 道産品の域内消費促進

2. 道外需要の開拓

- ・ 道外市場の開拓
- ・ 観光産業を中心とした交流人口の増加による需要拡大

施策展開の方向性

- (1) 社会情勢の変化への対応
 - ・ 人口減少(市場縮小)への対応
 - ・ グローバル化への対応
 - ・ 高齢化への対応
 - ・ 地球環境問題への対応
- (2) 北海道・札幌広域都市圏の強みの活用
 - ・ 豊富な北海道の食資源
 - ・ 北海道・札幌の魅力を活かした観光
 - ・ プロスポーツや雪国の特性を活かしたスポーツ
 - ・ 世界に誇れる文化芸術
 - ・ 積雪寒冷地技術及び教育機関等の活用
 - ・ 農林水産資源や研究機関の集積を活かしたバイオ
 - ・ 地域特性を活かしたIT
 - ・ 北海道の魅力を活かした映像やデザイン等のコンテンツ
- (3) 中小企業の経営基盤強化
 - ・ 人材育成
 - ・ 融資制度の充実
 - ・ 多様な人材確保
 - ・ 経営、創業アドバイスの充実

札幌市経済のさらなる成長・発展に向けて

札幌市経済を牽引するエンジン

北海道の一次産品を活かした「食」

北海道・札幌の強みを活かした「観光」

次世代に引き継ぐ「環境」

産業活性化を図る上での基盤

付加価値を高める「札幌型ものづくり」

第5章 ビジョンの運用体制

- ビジョン策定後は、中小企業振興審議会をはじめ、市内中小企業者等の意見を踏まえながら、進行管理を行っていく。
- ビジョンは、10年間の中長期的な計画であるが、この間に大きな経済の構造変化が生じた場合は、柔軟にビジョンの内容を改訂する。その際は、札幌市中小企業振興審議会のほか、中小企業者等の意見を反映させて見直しを行う。